

令和5年村上市教育委員会9月定例会会議録

○ 日 時

令和5年9月25日（月）午前9時30分 開会

○ 場 所

朝日支所2階 第1会議室

○ 出席委員

遠 藤 友 春 教育長  
横 山 吉 夫 委員（教育長職務代理者）  
大 滝 豊 委員  
板 垣 英 樹 委員  
小 川 涼 子 委員

○ 欠席委員

なし

○ 出席した事務局職員

学校教育課長	小 川 智 也
学校教育課 管理主事	仙 田 満
〃 指導主事	木 村 博
〃 指導主事	倉 町 宏 治
〃 教育総務室長	今 井 雅 仁
〃 未来の学校創造室長	中 山 晴 剛
生涯学習課長	平 山 祐 子
生涯学習課 社会教育推進室長	片 岡 昌 幸
〃 スポーツ推進室長	倉 松 淳 志
〃 スポーツ推進室主幹	菅 原 和 英
〃 文化行政推進室長	吉 井 雅 勇
〃 教育情報センター長	加 藤 涉
村上教育事務所長	浅 野 宏
荒川教育事務所長	百 武 靖 之
神林教育事務所長	田 村 富 夫
山北教育事務所長	本 間 宏

○ 欠席した事務局職員

朝日教育事務所長

本 間 憲 一

○ 書 記

学校教育課 教育総務室長

今 井 雅 仁

○ 会議に付した議件等

- ・会議録署名委員の指名について
- ・8月定例会会議録の確認について
- ・報第6号 一般報告事項について
- ・議第25号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

遠藤教育長

午前9時30分開会宣言

遠藤教育長

ただいまより令和5年9月定例会を開会します。

遠藤教育長

最初に私のほうから一言ご挨拶させていただきます。

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、やっと暑さも和らぎ始めました。秋の訪れとともに、各種行事やイベントが予定されていると思いますが、台風等の影響を受けることがないように願うばかりです。

さて、9月9日、私は荒川中学校の体育祭を参観しましたが、当日はまだ暑さも厳しかったです。学校では、熱中症予防対策として、生徒が暑さをしのげるテントをたくさん設営したり、水分補給のための休憩タイムを位置付けたり、昼食休憩を十分とらせた後、午後からは閉会式と後片付けだけの日程にしたりするなど、生徒の体育祭に寄せる思いを大切にしつつ、十分な対策をとっておりました。来年度以降も夏の猛暑は十分予想されることなので、運動会や体育祭等の開催日、当日の日程、当日までの練習の在り方等について、今年度中に方向性をはっきりさせることも大事なのではないかと考えます。

話は変わりますが、今月、スクールバスの運行誤り事案が発生し、公表させていただきました。詳細は、情報交換の場でお話させていただきます。本市の学校は、学校統合により校区の範囲が広く、スクールバス利用児童生徒も多くなってきております。スクールバスの安全・安心な運行にあたっては、日頃から教育委員会、学校、運行業者と連携を取り合っておりますが、どうしても人が関わることで、この度のような事案も発生してしまいます。しかし、利用する児童生徒やその保護者にとっては、安心・安全なスクールバス運行を願っているわけですから、再度、未然防止策を検討し、徹底してもらえるよ

う運行业者と協議をしているところです。これから、冬季バスの運行も始まり利用者も多くなります。これまで以上に、運行业者も利用者側も事故防止に努めてもらえることを願っております。

最後に、「今後の市内小中学校の教育環境について意見を伺う会」の開催についてです。今月9月22日から、7つの中学校区ごとに、PTA役員の皆様を対象に、順次開催させていただいております。教育委員の皆様には、それぞれの地元の中学校区での開催時にご参加いただきます。

皆様のご承知のとおり、教育委員会として、「村上市小中学校望ましい教育環境整備検討委員会」の答申を尊重し、早期に新たな「村上市立小中学校望ましい教育環境整備計画方針」を策定しなければなりません。そのためには、まず、各校のPTA役員の皆様に、市内小中学校の少子化に伴う学校規模の小規模化の現状、学校施設老朽化の現状、それらの今後の見通し等を説明させていただき、保護者のお立場から、地域の将来を担う子どもたちの学校環境について、ご意見を伺いたいと考えました。委員の皆様にも、それぞれの開催日は万障お繰り合わせの上ご参加ください。それでは、本日はよろしく願いいたします。

・会議録署名委員の指名について

遠藤教育長                    それでは、会議録署名委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

遠藤教育長                    会議録署名委員は、大滝委員と小川委員にお願いします。

・8月定例会会議録の確認について

遠藤教育長                    8月定例会会議録について確認します。各委員には自分の発言が漏れていないか、表現が違わないか確認していただきます。

遠藤教育長                    8月定例会会議録について何かございますか。  
(意見無し)  
8月定例会会議録は確認されました。

・報第6号 一般報告事項について

- 遠藤教育長 報第6号について上程します。  
最初に私から、一般報告事項を報告させていただきます。8月23日、8月定例教育委員会。27日、荒川中学校で市防災訓練が開催されました。8月30日、県公民館大会、開催されました。9月9日、体育祭、中学校で4校ありましたが、私は荒川中学校参観させていただきました。9月15日、生涯学習課の方で、村上市青少年健全育成市民会議、並びに青少年育成関川村民会議研修会ということで、講演会が開催されました。19日、教育委員会施策評価委員会が開催されました。22日、今後の教育環境についての意見調査の会、朝日中学校区で開催されました。本日25日、教育委員会定例会開催されております。夜には村上第一中学校区で、今後の教育環境について意見を伺う会を開催させていただきます。以上、報告させていただきました。
- 遠藤教育長 学校教育課長、お願いします。
- 学校教育課長 学校教育課の一般報告事項等について報告する。
- 社会教育推進室長 社会教育推進室の一般報告事項等について報告する。
- スポーツ推進室長 スポーツ推進室の一般報告事項等について報告する。
- 文化行政推進室長 文化行政推進室の一般報告事項等について報告する。
- 教育情報センター長 教育情報センターの一般報告事項等について報告する。
- 遠藤教育長 それでは学校教育課、生涯学習課の報告事項について質疑等がありましたらお願いします。  
(意見無し)
- 遠藤教育長 それでは一般報告事項は了承されました。

・議第25号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

遠藤教育長

次に、議第 25 号について上程します。説明をお願いします。

倉町指導主事

議第 25 号について説明します。

令和 5 年度全国学力・学習状況調査の結果の公表についてです。以上よろしくお願いたします。それでは 13 ページの資料をご覧ください。なおこの資料は本定例会でご承認いただいた後に、村上市のホームページに掲載して公表します。1、本調査の目的は 3 つあります。1 つ目は全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図ることです。2 つ目は、学校における児童生徒の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。3 つ目は、継続的な検証改善サイクルの確立。2、調査対象は小学校第 6 学年と中学校第 3 学年です。3、調査内容につきましては記載の通りであります。4、それでは結果について報告いたします。(1) 平均正答率です。令和 5 年度調査の平均正答率はこのページの一番下の太線で囲まれた表の通りです。参考までにその上の方に過去の調査結果も載せております。なお、英語の話すことに関する調査についての結果は参考値として提供されております。これは話すことに関する調査自体が、統一期日ではなく、1 ヶ月程度の期間内にそれぞれの中学校で実施したことによるものです。そのため、数値の公表は行いませんが、分析には用いることにいたしました。ア小学校です。国語につきましては、全国平均と同程度でした。話すこと聞くことにつきましては、全国平均を上回りました。一方で情報の扱い方に関する事項が下回ってしまいました。正答数分布は上位層が少なく、中位層が多い結果になりました。算数は全国平均を下回りました。領域別では、数と計算図形が下回りました。正答分布は上位階層が少なく、中位層が多い結果となりました。問題形式別に見ると、記述式は国語では上回り、算数では下回りました。選択式及び短答式の問題は、国語算数ともに全国平均を下回りました。続いて細かい問題についてです。国語では、漢字の記述問題。情報と情報との関係づけの仕方を理解し、使う問題に課題が見られました。漢字ではこの期間という漢字が書けませんでした。算数では加法や乗法の混合した整数の計算。正三角形の意味や性質の理解について問う問題に課題が見られます。続いて中学校です。中学校の国語は全国平均を下回りました。特に書くことが大きく下回りました。生徒数分布は上位層が少なく、中・下位層が多い結果になりました。数学は全国平均を下回りました。特に数と式、関数が大きく下回りました。正答数分布は上位層が少なく、下位層が多い結果になりました。英語につきましても全国平均を下回りました。

書くこと、読むこと、話すことが、全国平均を大きく下回りました。正答数分布は上位層が少なく、下位層が多い結果になりました。問題形式別に見ると、3つの教科すべてで記述式及び選択式問題の正答率が下回りました。短答式の問題の正答率は、国語では全国平均と同程度でしたが、数学では下回り、英語では大きく下回りました。英語における口述式、話すことについても、全国平均を大きく下回りました。国語では読み手の立場に立って叙述の仕方を確かめて、文章を整える問題等に課題が見られました。数学では反比例の理解を問う問題や、結論が成り立つ前提を問題解決の過程を振り返り説明する問題に課題が見られました。英語では言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書く問題や、未来表現の肯定文を正確に書く問題に課題が見られました。話すことにおいては、聞かれたことについて考えとその理由を話すことができるかを問う問題に課題が見られました。以上の結果より、今後取り組むべき課題の1つ目として、小・中学校ともに学習内容の確実な習得と継続的な確保との指導を設定いたします。次のページをご覧ください。次に、(2) 学校別正答率についてです。小学校では全国平均を上回ったのは、国語では13校中5校、算数では6校でした。国語算数ともに最大の学校間差は14ポイントでした。昨年度より国語は10ポイント縮小しましたが、数学は1ポイントの縮小にとどまりました。中学校では、全国平均を上回ったのは、国語では7校中4校、数学では2校、英語では1校でした。最大学校間差は、国語は17ポイント、数学は25ポイント、英語は13ポイントでした。昨年度より学校間差は国語で5ポイント、英語で8ポイント増加しました。以上より、今後取り組むべき課題の2つ目として、学校間差の解消を引き続き設定しております。次に(3) ICT利活用についてです。これは児童生徒質問紙の結果をもとにしてしております。授業において、ICT機器をほぼ毎日利活用している割合は小学校が全国平均よりも高く、下の方にイが中学校なのですが、中学校はやや低い結果になりました。導入当初、令和4年度は、3年度4年度に関しましては、とにかく使うことを目的にしておりましたが、今はICTを有効に使う方法試行錯誤している段階になってきたことも、昨年度、令和4年度より若干低下している要因ではないかと感じます。また、令和5年度より、表の3つ目の項目である学習のためにICT機器を活用しているかを問う問題に、学校の授業以外に、が追記されました。そのため、学校であれば休み時間、そして家庭での利活用の時間であるにとらえることができます。結果としましては、小学校では全国平均よりも多い結果になりましたが、中学校ではやや少ないという状況です。以上のことより、

今後取り組むべき課題の3つ目として、ICT機器の事業における日常的な活用及び家庭学習における活用の推進を設定いたしました。続きまして、次のページになります。4、家庭学習です。アとイの小学校中学校の表よりも、自分で計画を立てて家庭学習をしている児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均より多くなっております。また家庭学習の時間ですが、小・中学校ともに1時間以上学習する児童生徒の割合は全国平均並か多くなりました。ただ一方で、小中学校ともに2時間以上学習する割合は全国平均よりかなり少ないという結果がわかりました。以上より、今後取り組むべき課題の4つ目としては、家庭学習時間の増加と内容の改善を設定いたしました。最後にこれらの課題を受けた今後の取り組みについてお話いたします。(1) 課題1、2の解決に向けてです。主体的対話的で深い学びの実現に向け、村上市の授業づくりを土台とした授業改善の取り組みにつきまちは継続して推進して参ります。さらに判断の根拠や理由を明確に示しながら、自分の考えを記述したり、自己の変容が自覚できるような振り返りを記述したりする活動の推進を行います。また、基礎的基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身につけるための取り組みを全校体制で推進いたします。英語においては、引き続き言語活動の充実に向けた取り組みを進めます。また、小学校と中学校が連携し指導内容や指導方法の共有を図ります。小・中学校ともに、国立教育政策研究所の全国学力学習状況調査の結果を踏まえた事業アイデア例及び新潟県が行っている新潟学びチャレンジを活用した校内研修を継続し授業改善推進して参ります。(2) 課題3の解決に向けて。教科等の学びを深めるツールとしてICT機器を活用できるよう、児童生徒の情報活用能力の育成を推進します。また、児童生徒が自分で個別最適な学びができるスキルや協働的な学びに必要なスキルの育成を推進します。また、家庭学習においても活用できるようなデジタルドリル等の活用を推進いたします。(3) 課題4の解決に向けて。1つ目は、小学校中学校ともに計画を立てて家庭学習を行う取り組みを促します。終学活等にその日の家庭学習の計画を立てるプランニングタイムの実施、中学校区における家庭学習習慣やメディアコントロールの取り組みを今後も推進いたします。2つ目は、小学校における家庭学習の質の向上、中学校における家庭学習の量的質的向上を推進いたします。家庭学習の目的や内容進め方等について児童生徒とともに見直しを図るよう働きかけます。3つ目は学校ごとにこれらの具体的方策を設定させます。年度末の家庭学習実施状況調査において、これまでの1年間の成果と課題を明らかにいたします。そして各校の取り組み及び成果と課題を

まとめて各学校に配布し周知したいと思います。資料につきましては以上で説明を終わります。

遠藤教育長            はい、ありがとうございました。毎年公表させていただくための資料ですが、大変分かり易くさせていただきました。

遠藤教育長            15 ページで、学校間差対象の中学校のところで、昨年度との比較で、国語と数学だと思ったのですが、国語と英語って言われましたが数学ですよ。

倉町指導主事        数学です。英語は昨年度実施しておりませんでした。

遠藤教育長            それでは、本市の学力状況について大事な客観的指標になるわけですが、ご意見、ご感想等はございますか。

横山委員            資料 15 ページの中学校の質問事項に、学校の授業時間以外に、ICT の活用というのが記載されています。また、資料 14 ページを見ますと、村上市は、特に国語がかなり落ち込んで、全国よりも低いという結果です。小学校はかなり頑張って正答率が上がっておりますが、中学校は、まだ低い正答率となっておりますが、小学校は、学級担任が各学年学級の子供たちに宿題を出したり、課題を与えたり、タブレットを使いながら家庭で学習していますが、中学は教科体制ですので、その辺をどういう風な具体的なやり方をしているのか。場合によっては、その辺に課題があるかと思えます。

その現状について簡単にわかる範囲で、教えていただきたい。

倉町指導主事        小学校に関しましてはデジタルドリルの活用もかなり進んでいる学校が多いという状況です。担任が宿題として、タブレットの中で課題を出すということが習慣化している学校が多いようです。ただ、中学校に関しましては、デジタルドリルのほかに、ワークがあったり、宿題を出す場合に、デジタルドリルというよりはワークで宿題を出したりすることが多いのかなと思っております。そのためデジタルドリルの活用があまり進んでない状況もデータとして出ています。今後研修会で中学校の方に説明したいとも話していて、中学校でのデジタルドリルの活用が課題になっているというのが現状です。ただそのデジタルドリルの中身としては本当に単純な繰り返しだけではなくて、入試に対応できる問題が

あるということを、中学校の先生方が知らないのも現状だと思いますので、こういったことの周知も進めて参りたい。

横山委員                    ありがとうございました。

遠藤教育長                そもそも家庭学習を家でしていない。かなり全国的に見て少ない中で、少ない時間の中でさらにタブレットを活用するか、することが有効かと言われると非常に疑問な面もありますが、なかなかそこいらもリンクさせないと、どう活用すればいいかというのも難しいのではないかと私は思いましたが、またご意見聞かせてください。

遠藤教育長                他に、ご意見はございますか。  
(意見無し)

遠藤教育長                それでは、議第 25 号について承認されます方は挙手をお願いいたします。  
(全員挙手)  
ありがとうございました。議第 25 号は承認されました。

遠藤教育長                予定された議案について全て審議終了しましたが、その他ありますでしょうか。

遠藤教育長                次回定例会の予定をお願いします。

学校教育課長            10 月の定例会ですが、10 月 24 日火曜日午前 9 時 30 分から村上市朝日支所 2 階の第 1 会議室にて開催したいと思います。よろしくお願ひします。

遠藤教育長                各委員に確認し、全員了承する。

遠藤教育長                以上をもちまして、令和 5 年村上市教育委員会 9 月定例会を終了します。

午前 10 時 00 分閉会

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

教 育 長 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 \_\_\_\_\_